

平成31年2月4日 公告

阿武山学園本館建設昇降機設備工事  
設計図書の一部に表記誤りがありました。下記正誤表をご確認下さい。

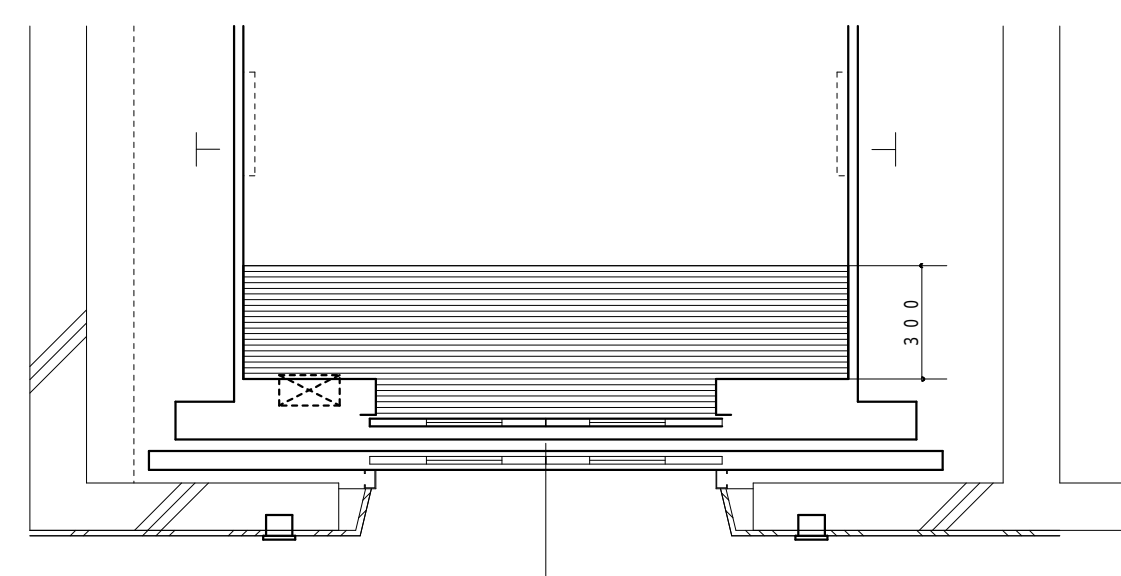
正誤表

訂正箇所	誤	正
図面No. 5 昇降行程の修正	4550	4000

エレベーター仕様		
台数	1台(前及型・機械室なし)	
用途	乗用(身体障害者兼用型)	
積載質量	900kg	
定員	13名	
制御方式	可変電圧・可変周波数制御方式	
運転方式	乗合全自動方式(ロープ式)	
定格速度	45m/min	
停止階数	1~2階(2箇所)	
動力用電源	AC 3 3W 210V 60Hz	
照明用電源	AC 1 2W 105V 60Hz	
巻上電動機	AC 3 3W 210V 設置場所 昇降路内1FL以上	
昇降寸法	全高 9,000mm オーバーヘッド 3,200mm以上	
	昇降行程 4,560mm ビット深さ 1,250mm以上	
かご寸法	内法 幅口 1,600mm x 奥行 1,350mm	
	出入口幅 900mm 出入口高 2,100mm	
戸形式	電動2枚戸中央開き	
主索	10mm x 3本以上 JIS G 3525(ワイヤーロープ)又は JIS G 3546(異形線ワイヤーロープ)又は、国土交通大臣の認定を受けたもの(ただし、維持管理コストが上がるものは除く。)	
ルール	「標仕」参照	
約合いおもり	「標仕」参照	
連絡装置	インターホン	
電源盤及び制御盤	設置場所 昇降路内1FL以上	
乗場	三方枠	鋼板製塗装仕上 1.6mm以上 小枠
	扉	特定防火設備 遮炎性能有り
	敷居	「標仕」参照
	インジケータ	ステンレスヘアライン仕上
かご	押しボタン	「標仕」参照
	天井及び側板	「標仕」参照
	主操作盤	「標仕」参照
	インジケータ	ステンレスヘアライン仕上
	扉	「標仕」参照
	床	「標仕」参照
その他	校内放送用スピーカは不要。	

特記事項
自動着床修正装置(着床精度±10mm以内)
停電時救出運転
地震時管制運転(P波及びS波(低・高))
火災時管制運転(手動方式 火災時呼戻しボタン(スイッチ保護板は再使用可能型))
閉じ込め時リスタート運転
管制運転時の主操作盤の表示は「停電」「地震」「火災」が区別できること。
かごは基準階(1階)復帰とする。
かご内、戸開時間延長ボタン
パーキングスイッチ 基準階(1階)鍵付
インターホンは、職員室、宿直室の2箇所設置する。(配線EM-CPEE0.9-5Pr共)
「大阪府福祉のまちづくり条例」及び「大阪市ひとにやさしいまちづくり整備要綱(平成25年4月)」に準拠すること。
耐震設計施工に関しては「昇降機耐震設計・施工指針(2014年版)」、「(一財)日本建築設備・昇降機センター(一社)日本エレベーター協会」に準拠するものとし、設計用標準震度は耐震クラスA14とする。
着脱式壁・床保護材(難燃性)
巻上電動機・電源盤及び制御盤の位置は、1階FL以上とする。
乗場床とかご床とのすき間は20mm以内とする。
かご内照明の所要照度は、かご中央床面から1m上りの位置において、200lx以上とする。
各銘板のシンボル・動作内容は参考を示す。実際のシンボル・動作にあわせて内容を変更し監督職員の承諾を受けること。
かご内にカメラを設け、乗場にかご内部を確認できるモニターを設置する。

付加仕様(身体障害者用)	仕様
自動開閉制御装置	両側セーフティシュー(光電式2段(20cm、60cm程度)又は多光軸式)
かご内鏡	金属製平面鏡を幅0.5~0.7m以上、鏡の下端は床面から0.5m程度 上端は床面から1.9m程度を背面壁に設けること。
キックプレート	かご内の側面及び背面にキックプレート(厚さ1.5mm以上のステンレスヘアライン仕上)を床下300mmの高さまで取り付ける。
自動放送装置	音声により、昇降方向案内・到着階案内・戸開戸閉案内・乗り過ぎ案内・非常事態等を通報すること。
音階チャイム	
シンボルマーク	国際身体障害者シンボルマークを専用乗場ボタン及び操作盤の近くに設ける。
かご内専用操作盤正操作盤	行き先ボタンを押すことにより扉の開放時間を10秒程度確保すること。 かごの位置(どちらか一方)、及びかごが停止する予定の階を表示すること。
かご内専用操作盤副操作盤	非常時にかご外部との連絡を行うため専用操作盤のどちらか一方にインターホンを設置すること。 ボタンは床面から1m程度の高さに設置すること。
注意事項	各ボタンは、視認性が良く操作しやすい押し込みボタンとし、文字浮きボタンとする。
かご内手すり	ステンレス製手すり(2方向)を高さ80cm程度の位置に設けること。
かご床材	かごの出入口部の床材は幅300mm程度を黄色で他の床材と感触の異なるもので仕上げのものとする。(点字ブロック以外のものとする。)
点字表示	かご内主操作盤、かご内専用操作盤。 乗場ボタン(一般用、専用)の各ボタン、乗場階の表示。 点字プレートにフェースプレートに後付けする場合は、点字プレートとフェースプレートがフラットになるように取付すること。または、フェースプレートへの直接ピン打ちも可とする。
専用乗場押ボタン	高さ1m程度の位置に設け、大きくて操作しやすいものとする。 ボタンを押すことにより扉の開放時間を10秒程度確保する。
聴覚障害者用装置	かご内操作盤の非常呼びボタンを(インターホン呼び出し)を押した時、呼出中(点灯)及び応答時(フリッカー)の区別ができる表示を行う。



かご床材 参考図 1:20

注(1) 建築基準法施行令の一部を改正する政令(平成20年政令第290号)を満たしており、国土交通大臣の認定を取得していること。  
注(2) 下記の建築基準法施行令の一部を改正する政令を満たしており国土交通大臣の認定を取得していること。  
・第129条の4第3項第5号(告示第1048号)  
・第129条の4第3項第6号(告示第1047号)

**ご使用方法**

行先階のボタンを押してください。

開りかける扉を開くときに押してください。

早く扉を閉めたいときに押してください。

非常のときはこのボタンを押してください。

長時間 扉を開いた状態で使用するとき押してください。3分間は開いたままになりません。

途中で閉めたいときはボタンを押してください。

**警報ブザーのご注意**

このエレベーターには定員超過ブザーがついています。ブザーが鳴りましたら乗り過ぎです。後からお乗りの方はご注意ください。

**ご使用上の注意**

扉の敷居にはゴミや砂を入れないでください。

エレベーターの中でとんだり 騒いだりしないでください。

扉にもたれたり 手をついたりしないでください。

操作ボタンを乱暴に取り扱ったり 用のないボタンを押さないでください。

万が一エレベーターが途中で止まり閉じ込められたときはあわてずボタンを押してください。

インターホンで外部より連絡がありますのでそのレジメに促してください。

かご内注意事項銘板

ブザーが鳴りましたら乗り過ぎです。の文字は赤色とする。

かご内使用方法銘板

**乗場注意(点字)銘板**

点字表記内容

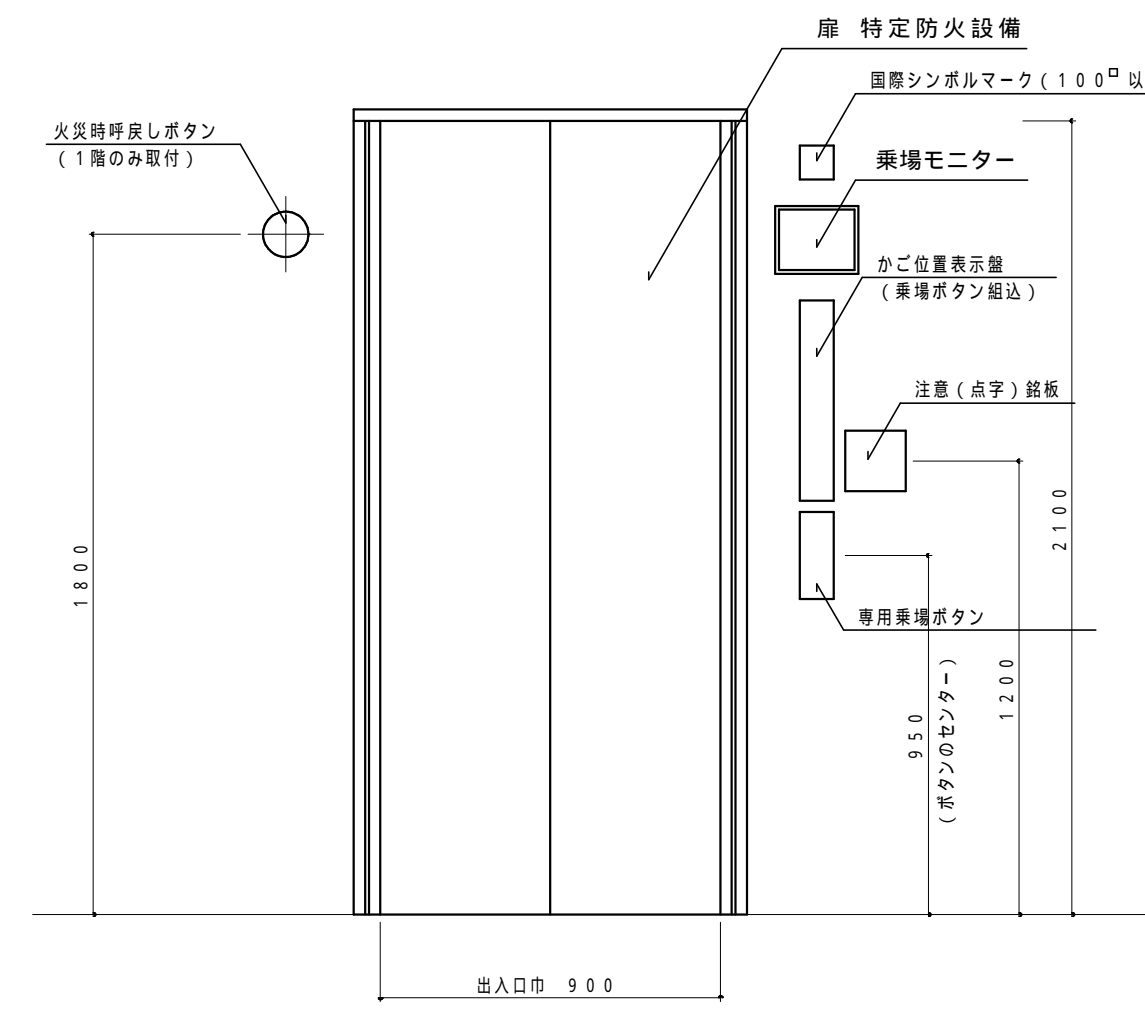
1. 戸の開閉時に、はさまれないようご注意ください。

2. 乗り降りの際は、出入口の段差とすきまにご注意ください。

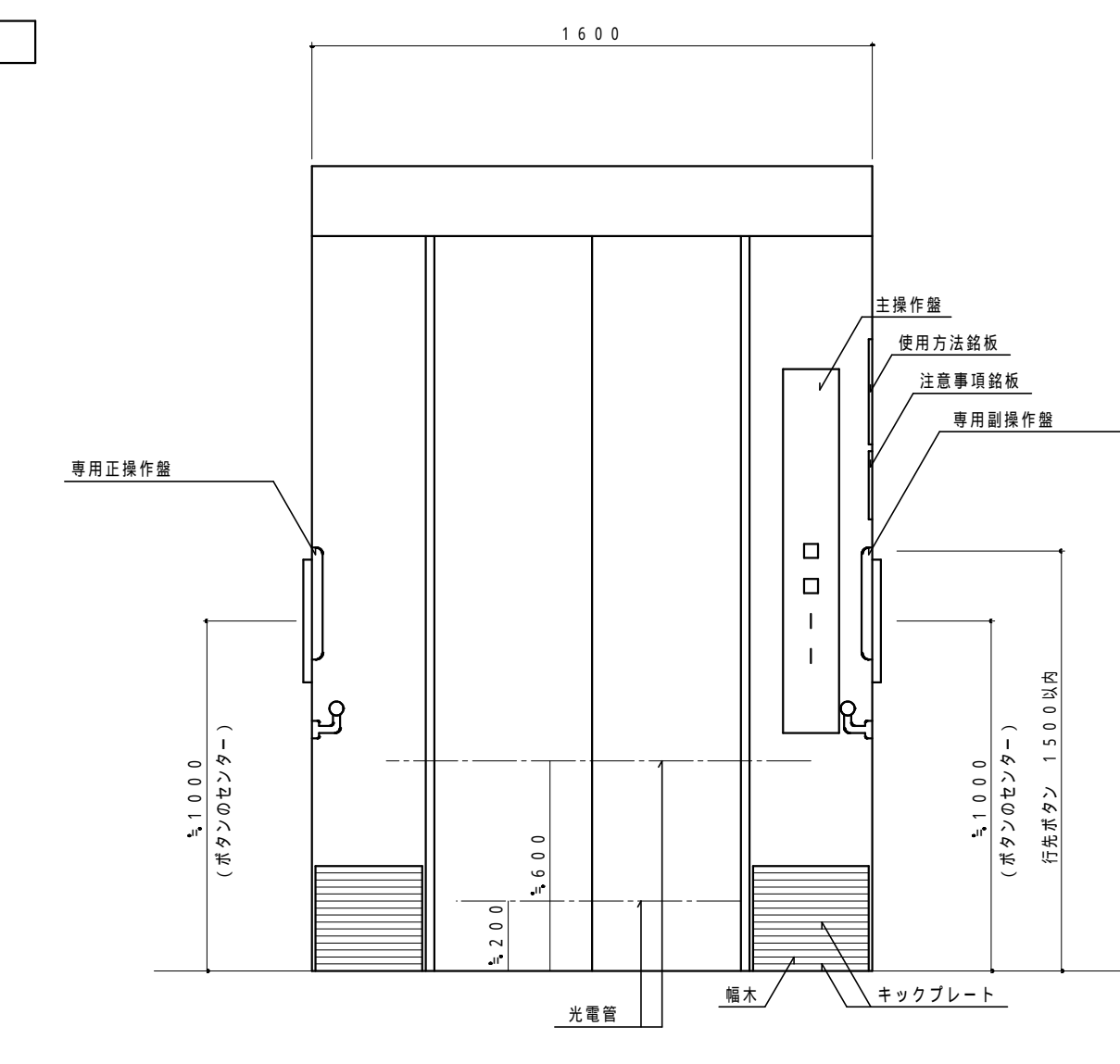
3. 非常のときは、エレベーター内のボタンを押してそのままお待ちください。

ゴチャイ  
ト/カイハイジニ ハサマレナイヨニ  
ゴチャイ クダサイ。  
ノリオリ トキワ デリグチ タンサト  
スキマニ ゴチャイ クダサイ。  
ビジョー トキワ エレベーターナイ ビジョーボタンヲ  
オシチ ソノママ オマチ クダサイ。

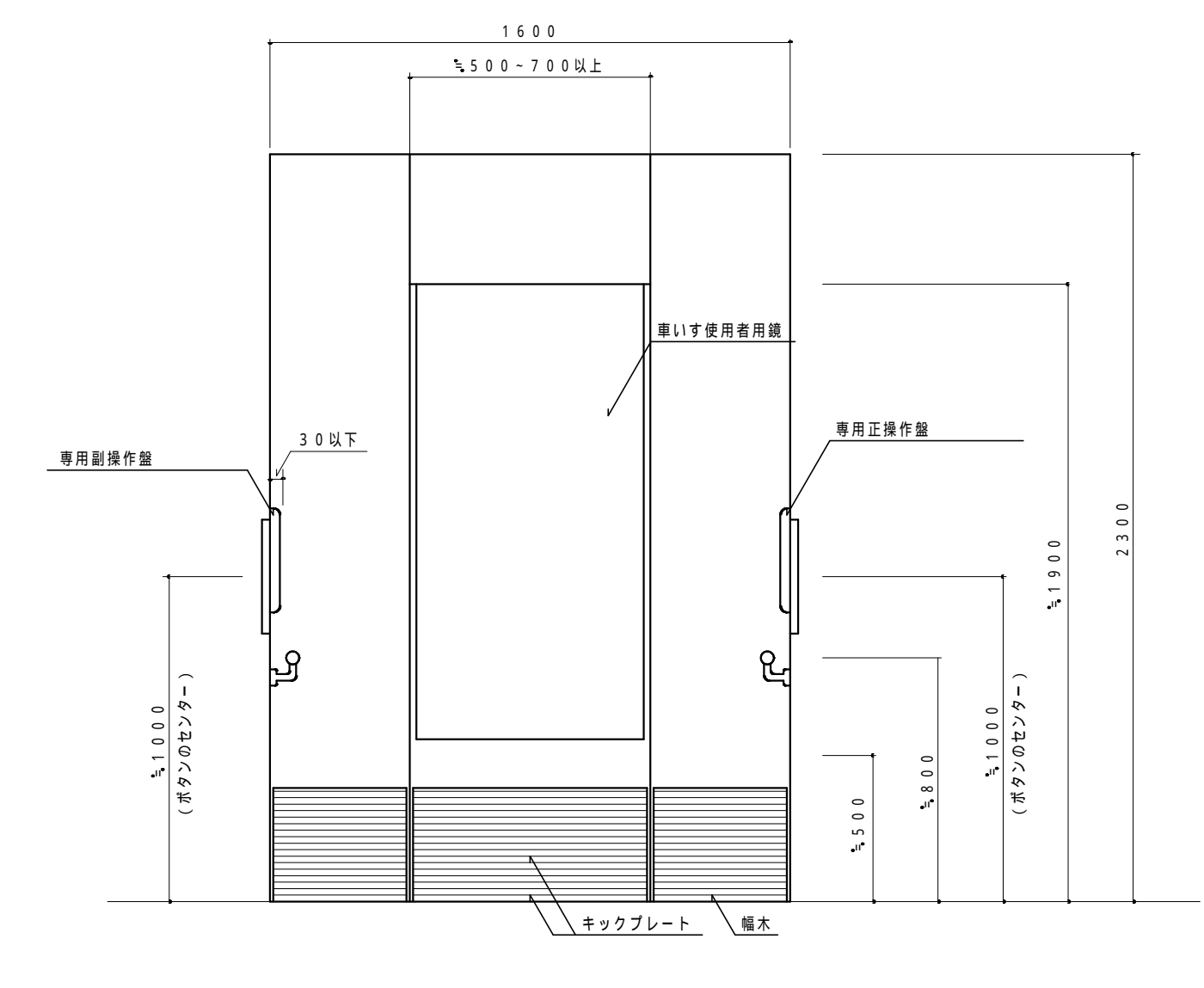
乗場注意(点字)銘板



乗場姿図 1:20



かご内正面図 1:20



かご内背面図 1:20

〈修正前〉

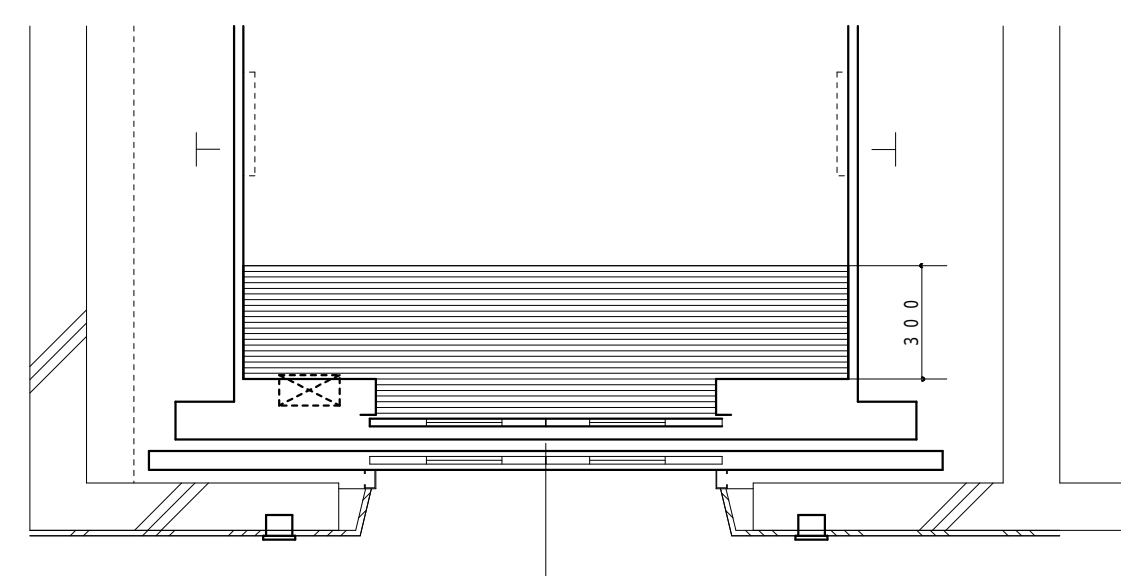
工事名称	阿武山学園本館建設昇降機設備工事	平成29年度
図面名称	昇降機設備 特記仕様	図面サイズ: A1
縮尺	1:20	図面番号 No. 5 (7枚の内)
大阪市都市整備局 公共建築部企画設計課(設備グループ)		設計事務所 株式会社 総合設備コンサルタント

標準図	昇降機	製図	平成29年12月	原図整理番号	EV-1301
-----	-----	----	----------	--------	---------

エレベーター仕様		
台数	1台(前及型・機械室なし)	
用途	乗用(身体障害者兼用型)	
積載質量	900kg	
定員	13名	
制御方式	可変電圧・可変周波数制御方式	
運転方式	乗合全自動方式(ロープ式)	
定格速度	45m/min	
停止階数	1~2階(2箇所)	
動力用電源	AC 3 3W 210V 60Hz	
照明用電源	AC 1 2W 105V 60Hz	
巻上電動機	AC 3 3W 210V 設置場所 昇降路内1FL以上	
昇降寸法	全高 9000mm オーバーヘッド 3200mm以上	
	昇降行程 4000mm ビット深さ 1250mm以上	
かご寸法	内法 開口 1600mm x 奥行 1350mm	
	出入口幅 900mm 出入口高 2100mm	
戸形式	電動2枚戸中央開き	
主索	10mm x 3本以上 JIS G 3525(ワイヤーロープ)又は JIS G 3546(異形線ワイヤーロープ)又は、国土交通大臣の認定を受けたもの(ただし、維持管理コストが上がるものは除く。)	
ルール	「標仕」参照	
約合いおもり	「標仕」参照	
連絡装置	インターホン	
電源盤及び制御盤	設置場所 昇降路内1FL以上	
乗場	三方枠	鋼板製塗装仕上 1.6mm以上 小枠
	座	特定防火設備 遮炎性能有り
	数	「標仕」参照
	インジケータ	ステンレスヘアライン仕上
かご	押しボタン	「標仕」参照
	天井及び側板	「標仕」参照
	主操作盤	「標仕」参照
	インジケータ	ステンレスヘアライン仕上
	座	「標仕」参照
	床	「標仕」参照
その他	校内放送用スピーカは不要。	

特記事項
自動着床修正装置(着床精度±10mm以内)
停電時救出運転
地震時管制運転(P波及びS波(低・高))
火災時管制運転(手動方式 火災時呼戻しボタン(スイッチ保護板は再使用可能型))
閉じ込め時リスタート運転
管制運転時の主操作盤の表示は「停電」「地震」「火災」が区別できること。
かごは基準階(1階)復帰とする。
かご内、戸開時間延長ボタン
パーキングスイッチ 基準階(1階)鍵付
インターホンは、職員室、宿直室の2箇所設置する。(配線EM-CPEE0.9-5Pr共)
「大阪府福祉のまちづくり条例」及び「大阪市ひとにやさしいまちづくり整備要綱(平成25年4月)」に準拠すること。
耐震設計施工に関しては「昇降機耐震設計・施工指針(2014年版)」、「(一財)日本建築設備・昇降機センター(一社)日本エレベーター協会」に準拠するものとし、設計標準震度は耐震クラスA14とする。
着脱式壁・床保護材(難燃性)
巻上電動機・電源盤及び制御盤の位置は、1階FL以上とする。
乗場床とかご床とのすき間は20mm以内とする。
かご内照明の所要照度は、かご中央床面から1m上りの位置において、200lx以上とする。
各銘板のシンボル・動作内容は参考を示す。実際のシンボル・動作にあわせて内容を変更し監督職員の承諾を受けること。
かご内にカメラを設け、乗場にかご内部を確認できるモニターを設置する。

付加仕様(身体障害者用)	仕様
自動開閉制御装置	両側セーフティシュー(光電式2段(20cm、60cm程度)又は多光軸式)
かご内鏡	金属製平面鏡を幅0.5~0.7m以上、鏡の下端は床面から0.5m程度 上端は床面から1.9m程度を背面壁に設けること。
キックプレート	かご内の側面及び背面にキックプレート(厚さ1.5mm以上のステンレスヘアライン仕上) を床下300mmの高さまで取り付ける。
自動放送装置 音階チャイム	音声により、昇降方向案内・到着階案内・戸開戸閉案内・乗り過ぎ案内・非常事態等を通報すること。
シンボルマーク	国際身体障害者シンボルマークを専用乗場ボタン及び操作盤の近くに設ける。
かご内専用操作盤 正操作盤	行き先ボタンを押すことにより扉の開放時間を10秒程度確保すること。 かごの位置(どちらか一方)、及びかごが停止する予定の階を表示すること。
かご内専用操作盤 副操作盤	非常時にかご外部との連絡を行うため専用操作盤のどちらか一方に インターホンを設置すること。 ボタンは床面から1m程度の高さに設置すること。
注意事項	各ボタンは、視認性が良く操作しやすい押し込みボタンとし、文字浮きボタンとする。
かご内手すり	ステンレス製手すり(2方向)を高さ80cm程度の位置に設けること。
かご床材	かごの出入口部の床材は幅300mm程度を黄色で他の床材と感触の異なるもので仕上げるとする。(点字ブロック以外のものとする。)
点字表示	かご内主操作盤、かご内専用操作盤。 乗場ボタン(一般用、専用)の各ボタン、乗場階の表示。 点字プレートにフェースプレートに後付けする場合は、点字プレートとフェースプレートがフラットに なるように取付すること。または、フェースプレートへの直接ピン打ちも可とする。
専用 乗場押ボタン	高さ1m程度の位置に設け、大きくて操作しやすいものとする。 ボタンを押すことにより扉の開放時間を10秒程度確保する。
聴覚障害者用装置	かご内操作盤の非常呼びボタンを(インターホン呼び出し)を押した時、呼出中(点灯) 及び応答時(フリッカー)の区別ができる表示を行う。



かご床材 参考図 1:20

注(1) 建築基準法施行令の一部を改正する政令(平成20年政令第290号)を満たしており、国土交通大臣の認定を取得していること。  
注(2) 下記の建築基準法施行令の一部を改正する政令を満たしており国土交通大臣の認定を取得していること。  
・第129条の4第3項第5号(告示第1048号)  
・第129条の4第3項第6号(告示第1047号)

**ご使用方法**

行先階のボタンを押してください。

開りかける扉を開くときに押してください。

早く扉を閉めたいときに押してください。

非常のときはこのボタンを押してください。

長時間 扉を開いた状態で使用するとき押してください。3分間は開いたままになります。

途中で閉めたいときはボタンを押してください。

**警報ブザーのご注意**

このエレベーターには定員超過ブザーがついています。ブザーが鳴りましたら乗り過ぎです。後からお乗りの方はご注意ください。

**ご使用上の注意**

座の敷居にはゴミや砂を入れないでください。

エレベーターの中でどんだり 騒いだりしないでください。

座にもたれたり 手をついたりしないでください。

操作ボタンを乱暴に取り扱ったり 用のないボタンを押さないでください。

万が一エレベーターが途中で止まり閉じ込められたときはあわてずボタンを押してください。

インターホンで外部より連絡がありますのでそのレジ指示に従ってください。

かご内注意事項銘板

ブザーが鳴りましたら乗り過ぎです。の文字は赤色とする。

かご内使用方法銘板

**乗場注意(点字)銘板**

ご注意

1. 戸の開閉時に、はさまれないようご注意ください。

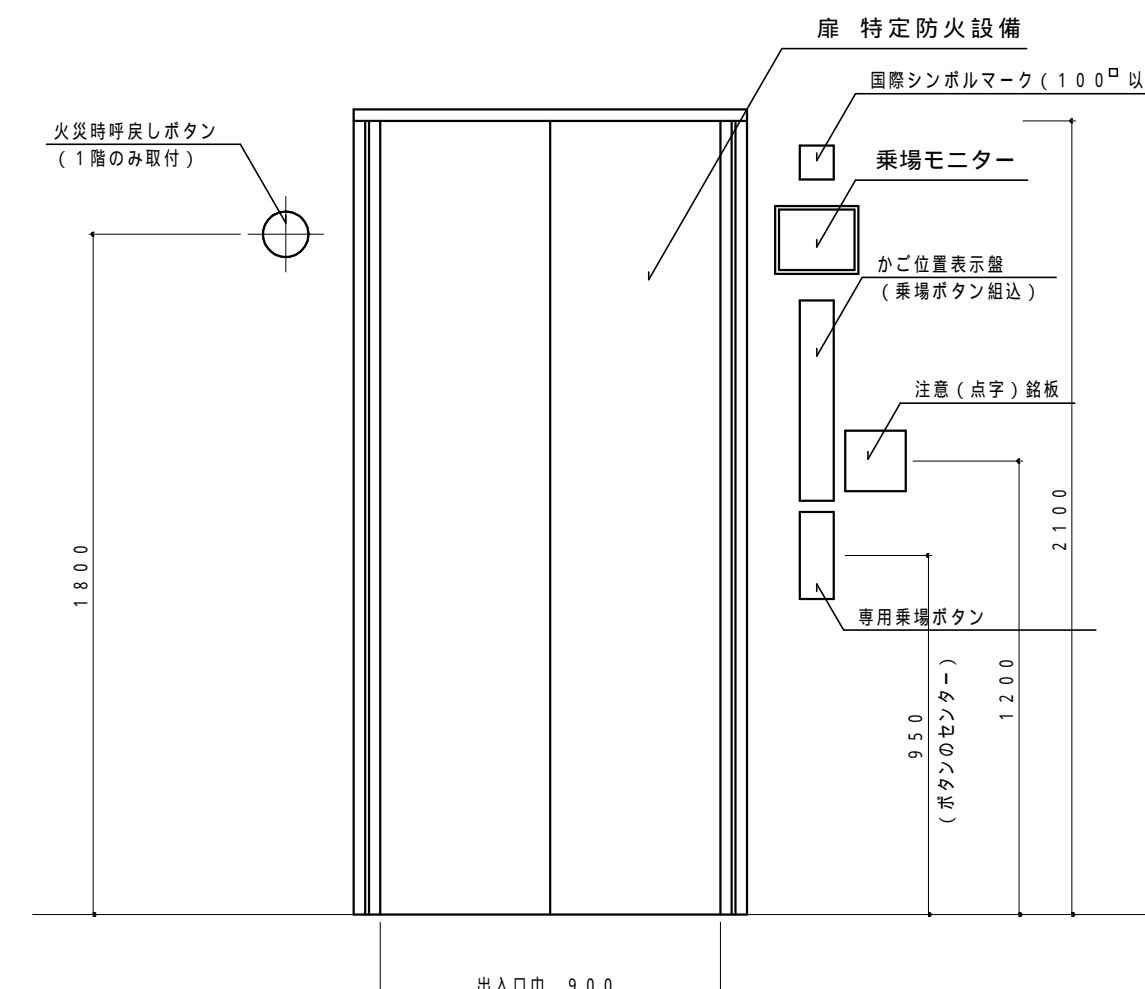
2. 乗り降りの際は、出入口の段差とすまやかにご注意ください。

3. 非常のときは、エレベーター内のボタンを押してそのままお待ちください。

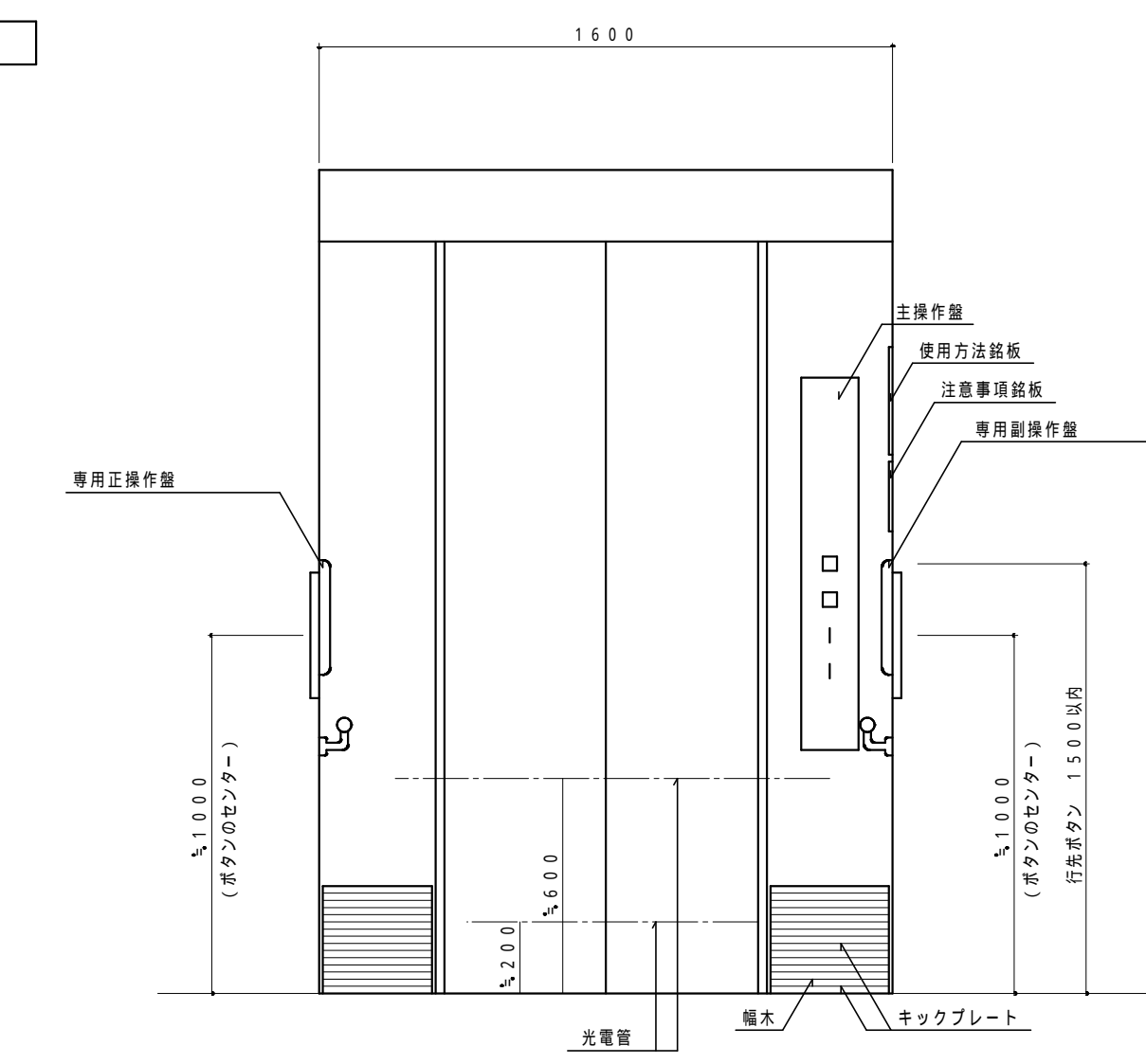
点字表記内容

ゴチューイ  
ト/カイハイジニ ハサマレナイヨニ  
ゴチューイ クダサイ。  
ノリオリ トキワ デリグチ タンサト  
スキマニ ゴチューイ クダサイ。  
ビジョー トキワ エレベーターナイ ビジョーボタンヲ  
オシチ ソノママ オマチ クダサイ。

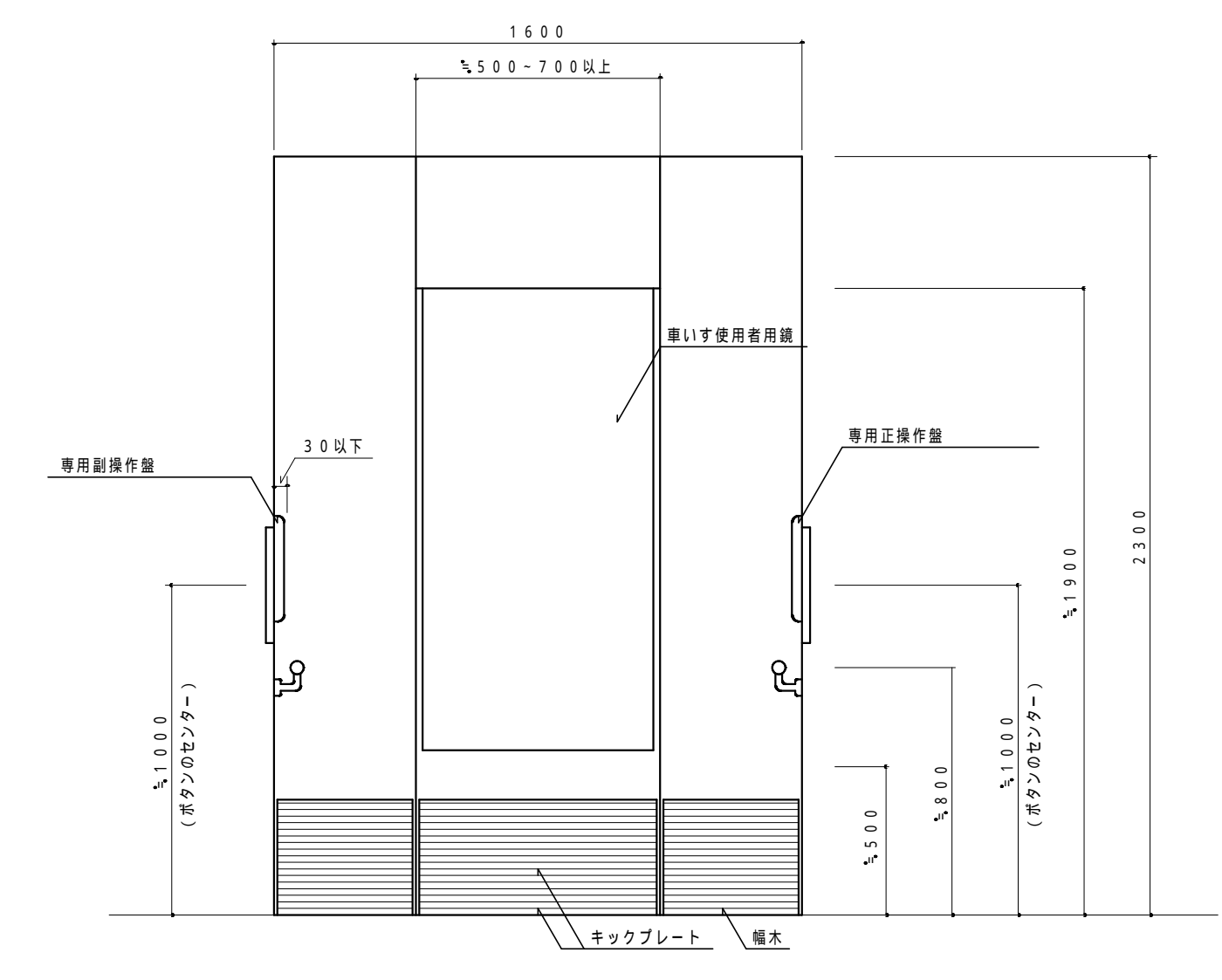
乗場注意(点字)銘板



乗場姿図 1:20



かご内正面図 1:20



かご内背面図 1:20

〈修正後〉

工事名称	阿武山学園本館建設昇降機設備工事	平成29年度
図面名称	昇降機設備 特記仕様	図面サイズ: A1
縮尺	1:20	図面番号 No. 5 (7枚の内)
大阪市都市整備局 公共建築部企画設計課(設備グループ)		設計事務所 株式会社 総合設備コンサルタント

標準図	昇降機	製図	平成29年12月	原図整理番号	EV-1301
-----	-----	----	----------	--------	---------